平成 21 年 10 月 10 日
NPO 四季の森里山研究会

森林ミニ講話　　毒のある植物

野山には結構有毒植物が多い。知らないで触ったり、実をうっかり口にするとひどい目に会う。中には死んでしまうものもある。　知らない植物は口にするのはやめよう。

アセビ(木)　　アセボトキシンという有毒物質を含む。鹿も食べない。
エゴノキ(木)　エゴサポニンという有毒物質を含む。
キツネノボタン(草)　　キンポウゲ科の植物は全部毒をもっている。
キョウチクトウ(木)　　白い樹液が有毒。人が死ぬこともある。
クサノオウ(草)　　茎を折ると黄色い汁が出る。触るとかぶれる。
コバイケイソウ(草)　　ウルイと間違えて食べ、食中毒を起こす。
スズラン(草)　　可愛らしい姿をしているが食べると中毒を起こす。
タケニグサ(草)　　オレンジ色の汁が毒。
ツタウルシ(木)　　葉に触ると強烈にかぶれる。ウルシの中で最も強い毒。
テンナンショウ(草)　　サトイモ科で有毒。食べられない。
ドクウツギ(木)　　実を食べると死ぬ。最も危険な植物の一つ。
ドクゼリ(草)　　シクトキシンという毒があり、食べると痙攣を起こす。
トリカブト(草)　　毒の横綱。葉も茎も花も根も全部毒。死に至る。
ハシリドコロ(草)　食べると幻覚症状を起こす。
ハマウド(草)　　アシタバと間違えやすい。一応有毒だが毒性は弱い。
ヒガンバナ(草)　　有毒だが根は水にさらして非常食とした。
ヒメオドリコソウ(草)　　シソ科の野生種はほとんど有毒。
ホウチャクソウ(草)　　アマドコロと間違えて食べると下痢をする。
ボタンボウフウ(草)　　茎を折ると白い液がでる。これが毒。
ホトケノザ(草)　　シソ科の野生種はほとんど有毒。
マムシグサ(草)　　サトイモ科で、見るからに毒々しい。
ヤマウルシ(木)　　新芽をコシアブラやハリギリと間違えて触るとかぶれる。
ユウカリ(木)　　コアラしか食べない。
ユズリハ(木)　　樹液と葉は駆虫剤にするくらい。
ヨウシュヤマゴボウ(草)　　アルカロイドを含み、有毒。

（作成：松崎　龍之介）